

法人名 特定非営利活動法人熊谷市ほたるを保護する会

**事業計画書**

事業名	ホタルの里の子育て事業
種類	金紋世界鷹 (みどりと川の再生環境保全事業)
1. 事業の目的	<p>ホタルの里で子育て世代が活用できる里山整備の調査</p> <p>① 現在下刈り等実施している里山を地権者から 1,000 m<sup>2</sup>の土地寄贈の申し出があった。本会は来年からこの土地を子育て世代が積極的に活用できる、ホタル里山に整備する。</p> <p>② この事業を通して若い世代の里山保全の意識を高めていきたい。</p>
2. 事業で取り組みたい地域や社会の課題	<p>(1) 法人の設立目的・これまでの活動・成果</p> <p>① 設立目的：ホタルの保護活動を通しての環境保全</p> <p>② 活動：</p> <p>ア、ホタル保護活動 ホタル生息地の清掃活動・ホタル等捕獲防止パトロール・ホタル発生数調査・里山保全活動</p> <p>イ、ホタル祭り・案内所開設</p> <p>ウ、啓発活動 セミナー、小中学校の協力で看板設置・他団体との連携・里山の親子散策・ほたるハンドブックの発行、機関誌の発行</p> <p>エ、研修関係 県外研修、ガイド研修、シンポジウム、講演会等</p> <p>③ 成果</p> <p>これまでホタルの保護活動を通して環境保全に力を入れてきた。江南地域ではゲンジボタルの生息地が 30 か所以上に増えている。関東地方では珍しくなった。</p> <p>(2) 課題</p> <p>① 子育て世代が自然の中に入り親子で楽しみたい要望を多くお聞きしている。自然豊かな地域に暮らしていても、里山に踏み入れた活動をする場は皆無である。</p> <p>後継者として若い人を取り込み、地道に環境保全活動を行うことが課題である。</p> <p>② 地域の里山を整備し、ホタルの保護活動の一環で親子を対象とした里山散策行事を実施してきた。里山を整備し事故のないように実施して来た。子供がいつでも保護者と楽しめる里山を整備することが課題である。</p>
3. 具体的な事業内容	<p>(1) 子育て世代の活用する里山の整備に関するセミナー</p> <p>① 趣旨 講師を囲んで里山整備について調査結果を基に開催する。色々な示唆を頂きこれからの里山整備を進めていく。</p> <p>② 時期 令和 3 年 10 月</p> <p>③ 対象者 子育て世代の人や本会会員、地元自治会</p> <p>④ 場所 熊谷江南勤労福祉会館</p>

	<p>⑤ 参加見込人数 100名          ⑥ 協力者 熊谷青年会議所 環境団体他</p> <p>(2)「ホタル里山の子育て」のイベント</p> <p>①趣旨 子育て世代の活用する里山整備の実施に向けて、機運を高め、里山が積極的に活用できる様にする。</p> <p>② 時期 令和3年2月初旬</p> <p>③ 対象者 子育て世代の人や本会会員、地元自治会</p> <p>④ 場所 熊谷江南総合文化会館ホール</p> <p>⑤ 参加見込人数 300名</p> <p>⑥ 協力者 熊谷青年会議所 環境団体他</p>																
<p>4. 具体的な事業の実施計画</p>	<p>(1)子育て世代の活用する里山の整備に関するセミナー</p> <p>①趣旨 里山整備や準備に向けた問題点等の調査資料をまとめ、対象里山の整備計画をまとめる。</p> <p>② 時期 ・7月アンケート調査 地域の親を中心にニーズ等          ・9月ホタル里山の測量          ・先進施設等視察          施設名：牛久自然観察の森ネイチャーセンター          住所：茨城県牛久市結束町489-1          ・10月セミナー実施</p> <p>③ 対象者 アンケート調査は保育園や幼稚園等の保護者</p> <p>④ 場所 熊谷市他</p> <p>⑤ 調査見込人数 300名</p> <p>⑥ 協力者 熊谷青年会議所 環境団体 他</p> <p>(2)「ホタル里山の子育て」のイベント</p> <p>①趣旨 講演会等を実施し、子育て世代が活用する里山整備計画に基づき里山整備・活用の機運を高める。</p> <p>③ 時期 11月チラシの作成</p> <p>④ 対象チラシ配布子育て世代の人や本会会員、地元自治会他          場所 熊谷市他</p> <p>⑤ チラシ配布見込部数 2,000部</p> <p>⑥ 協力者 熊谷青年会議所 環境団体 保育園、幼稚園他</p> <p>○事業のスケジュール</p> <table border="1" data-bbox="486 1675 1342 2049"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>アンケート作成・実施</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>先進施設視察、測量等実態調査</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>セミナー実施</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>イベント準備 チラシ作成・配布</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td></td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>対象里山整備計画作成</td> </tr> </tbody> </table>	時期		7月	アンケート作成・実施	8月		9月	先進施設視察、測量等実態調査	10月	セミナー実施	11月	イベント準備 チラシ作成・配布	12月		1月	対象里山整備計画作成
時期																	
7月	アンケート作成・実施																
8月																	
9月	先進施設視察、測量等実態調査																
10月	セミナー実施																
11月	イベント準備 チラシ作成・配布																
12月																	
1月	対象里山整備計画作成																

	2月	ホタル里山イベント
	<p>○広報計画について</p> <p>・チラシ作成・配布 子育て世代に届くように保育園や保育園、本会員、自治会、公民館、熊谷市の窓口等で配布する。</p>	
5. 事業の実施体制	<p>事業の実施について</p> <p>① 総括責任者 柴田忠雄</p> <p>② 連絡責任者 小柴清</p> <p>③ 現場責任者 杉田義勝</p> <p>④ 経理担当者 橋本弘</p> <p>⑤ 広報担当者 櫻井省三</p>	
6. 来年度以降どのように事業を継続し発展させていくか	<p>今回、調査した里山は平成29年度より整備を続けている里山（約1,000㎡）である。地権者から寄贈の申し出があるので、今年度の調査・研究をもとにして、来年度以降この里山を子育て世代が活用できる里山に整備する。</p> <p>この土地は江南行政センターや中学校、保育園、幼稚園等があり住宅も多くなっているので防災上も重要な場所になる。</p>	
7. 今回の事業が他の団体、行政等が実施する同種の事業と比べて優れていること	<p>ホタル里山の整備を始めて、市民の森づくり（市民協働）荒廃田等開墾（県NPO基金）等の事業を手掛けて10年目である。</p> <p>これまでの整備事業の経験を生かして、今回の調査事業等に基づいて、いま里山整備で一番抜けている子育て世代（1～3歳）が活用できる里山整備を行う。</p> <p>将来、日本を背負っていく子供達を数多く育てることのできる環境を整える。そして、自然に親しみ生活力のある子供達を育てていきたい。</p>	